



■ 株主のみなさまへ

第149期 中間報告書

平成28年4月1日から9月30日まで



エニシユウ株式会社

CONTENTS

目次

株主のみなさまへ	2
事業の概況	3
中間連結財務諸表	5
トピックス	7
株式の状況	9
会社の概況	10



本社及び高塚工場



浜北工場

経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当中間連結期間における我が国経済は、為替相場が円高傾向で推移したことが、輸出企業を中心に企業収益を圧迫しており、また中国をはじめとしたアジア新興国経済の下振れや欧州経済への警戒感など、世界経済の先行き不透明感から設備投資についても慎重な姿勢が見られるなど、厳しい状況が続きました。

このような情勢の中、当社グループは中国や欧米だけでなく、国内への拡販を図ってまいりましたが、当連結会計年度の売上高は、工作機械関連事業部門の減少により10,386百万円(前期比14.6%減)となりました。損益につきましては、生産効率化や原価低減の効果により、輸送機関連事業部門が増益となりましたが、売上高の減少に伴い工作機械関連事業部門の採算が悪化したことにより、営業損失170百万円(前期は営業利益65百万円)、経常損失304百万円(前期は経常損失108百万円)、当期純損失340百万円(前期は当期純損失151百万円)となりました。

当社グループといたしましては、安定した経営基盤の確立を目指して全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、149期の中間配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分でなく無配とさせていただきたく存じます。

平成28年12月



代表取締役社長

土屋隆史

平成28年4月1日から平成28年9月30日に至る当社グループ第149期中間連結期間の事業の概況をご報告申し上げます。



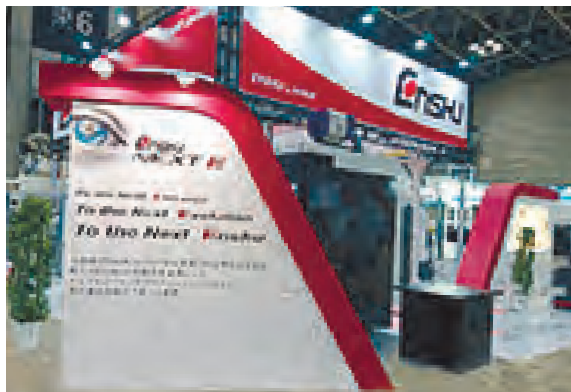
工作機械・レーザー事業部門

日本工作機械工業会(日工会)は年初に発表した2016年度の受注目標額1兆5500億円を、円高や中国経済の停滞を理由に1兆3000億円に下方修正しました。9月の受注額は1000億円を超えたものの前年割れは14カ月連続で続いております。

このような情勢の中、当中間連結期間におきましては、大口システム案件がなかったこともあり、中国向け売上高が大きく落ち込み、北米等の売上増でこれをカバーしきれなかったことから、当部門の売上高は5,158百万円(前年同期比26.3%減)となりました。営業利益につきましては、売上高減少の影響が大きく、268百万円の損失(前年同期は205百万円の利益)となりました。

しかしながら昨年より取り組んでいる営業強化策、ショールームの新設、展示会の積極開催、商社との連携強化などにより、今上期の引合い総額は前下期の1.5倍に増加しております。

さらに11月17日から22日に東京ビックサイトで開催されたJIMTOF2016には、ホーニング機能付きマシンングゼンタ、レーザークラッド、小型5軸マシンングゼンタなど、数多くの当社独自の新技術、新製品を出展し、新規のお客様からの受注獲得に努めております。



▲JIMTOF出展機(浜北工場)



輸送機器事業部門

当中間連結期間におきましては、国内およびベトナム現地法人ともに売上高は堅調に推移しており、輸送機器関連事業部門の売上高は5,192百万円(前年同期比1.9%増)となりました。また、損益につきましては、ベトナム現地法人の生産が軌道に乗ったことに加え、国内において変動費のコスト管理徹底や生産性向上活動などの施策を継続的に推進した結果、昨年度下期以降、黒字を継続しており、営業利益は72百万円(前年同期は営業損失196百万円)となりました。

当部門におきましては、継続して新規部品を積極的に取り込みながら、生産性向上と品質向上、原価低減等の各種施策活動をさらにステップアップさせ、体質強化と事業の拡大、利益の創出を図ってまいります。また引き続き海外製造子会社であるENSHU VIETNAM Co.,Ltd. を活用した最適生産体制を発展させ、グローバルにお客様にご満足いただける品質、価格、納期の提供ができるよう、努めてまいります。



▲トラック用エキゾーストパイプ加工ライン

INTERIM CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）（平成28年9月30日現在）

（単位 百万円 百万円未満は切捨て）

項 目	金 額	項 目	金 額
●資産の部●		●負債の部●	
流動資産	13,923	流動負債	10,287
現金及び預金	926	支払手形及び買掛金	2,048
受取手形及び売掛金	3,614	電子記録債務	1,135
電子記録債権	2,337	短期借入金	5,009
商品及び製品	2,985	資産除去債務	69
仕掛品	2,514	未払法人税等	51
原材料及び貯蔵品	1,215	賞与引当金	348
その他	372	その他	1,624
貸倒引当金	△43	固定負債	11,816
固定資産	14,655	長期借入金	6,120
有形固定資産	14,195	退職給付に係る負債	3,764
機械装置及び運搬具	3,590	役員退職慰労引当金	15
土地	7,387	資産除去債務	223
その他	3,216	その他	1,693
無形固定資産	170	負債合計	22,104
投資その他の資産	289	●純資産の部●	
その他	316	株主資本	3,876
貸倒引当金	△26	資本金	4,640
資産合計	28,578	資本剰余金	1,230
		利益剰余金	△1,928
		自己株式	△66
		その他の包括利益累計額	2,598
		純資産合計	6,474
		負債純資産合計	28,578

中間連結損益計算書(要旨) 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

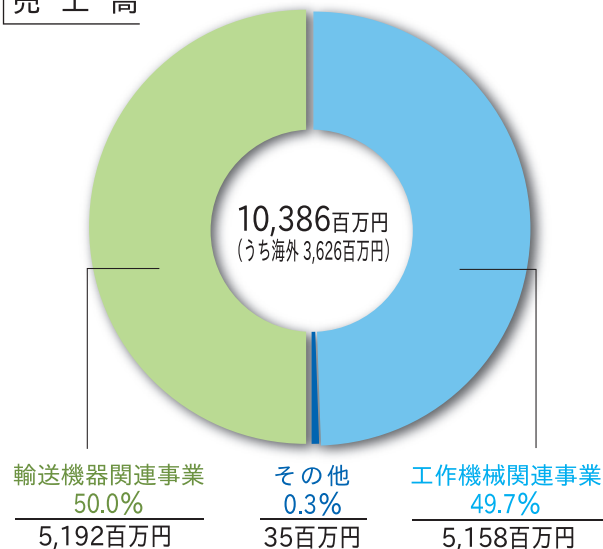
項 目	金 額
売 上 高	10,386
売 上 原 価	9,211
売 上 総 利 益	1,174
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,345
営 業 損 失 (△)	△170
営 業 外 収 益	36
営 業 外 費 用	169
経 常 損 失 (△)	△304
特 別 利 益	3
特 別 損 失	9
税金等調整前中間純損失(△)	△310
法人税、住民税及び事業税	18
法人税等調整額	10
中 間 純 損 失 (△)	△340

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日

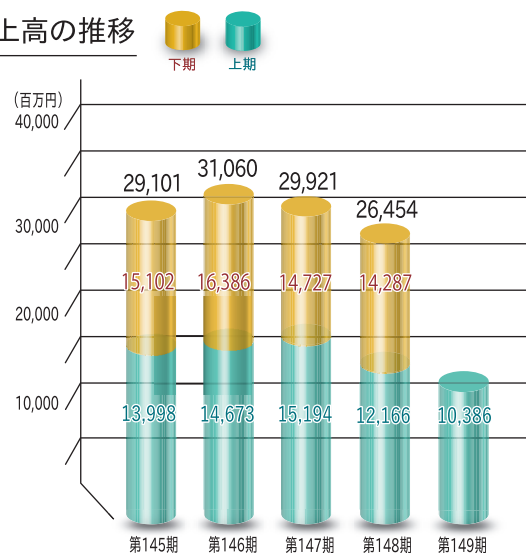
(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,192
現金及び現金同等物の期首残高	3,017
現金及び現金同等物の中間期末残高	825

売 上 高



売上高の推移





工作機械・レーザー事業部門

■IMTS 2016 第31回シカゴショーに出展

2016年9月12日から17日の6日間、アメリカ・シカゴにて国際展示会「IMTS2016」が開催されました。

当社はWE30Ve2台とGE460H、GE480Hの計4台を出展。WE30Veはスチールのデモ加工を行い、高剛性をアピールしたことにより、多くの引合を頂くことができました。

■JIMTOF 2016

第28回日本国際工作機械見本市に出展

11月17日から22日の6日間、東京ビックサイトに「JIMTOF2016」が開催されました。

今年は展示スペースの拡大もあり、過去最大の出展規模となりました。



当社は、「NEXT-E」を新たなスローガンとして掲げ、新技術、新製品を提案。新形マシニングセンタ「GE40H」、「WE30V 5軸加工機」や、日産自動車と共同開発したホーニング加工機能付き立形マシニングセンタ「BH100VL」を展示、レーザークラッドによる金型補修システムを参考出展しました。

これらの新製品・新技術を積極的に提案し、お客様の生産性向上を支援することで選ばれ続ける企業を目指してまいります。

輸送機器事業部門



▲GE40H



▲BH100VL



▲船舶エンジン向けシリンダーヘッドライン



▲ENSHU VIETNAM 工場

■国内生産の拡大と

ベトナム工場を活用した最適生産体制の確立

エンジン関連部品を中心に新規部品の加工取り込みを積極的に行っております。生産性向上及び品質活動を活発に実施しながら、原価低減活動の成果を着実に積み重ねながら、生産の拡大と利益の創出に努めております。

ベトナム工場におきましては、日本国内で生産している一部製品の移管を受け入れつつ、新規顧客獲得に向けての活動も積極的に行っております。

今後はさらに日本とベトナムの連携を強化し、お客様にご満足いただける品質と価格を実現できるよう努力してまいります。



STOCK REPORT

株式の状況

株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,534,546株 (自己株式 450,251株を含む)
資本金	4,640,850,000円

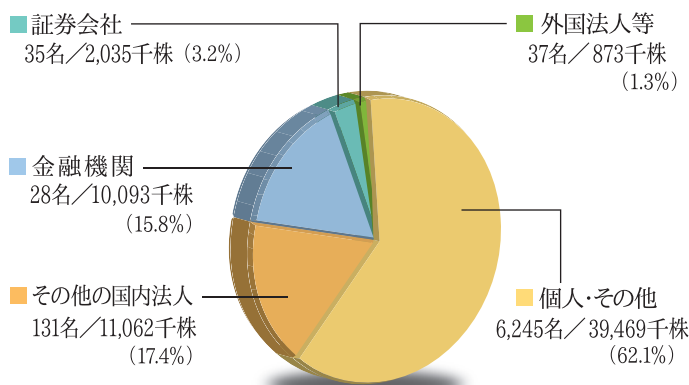
大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株 (10.23%)
エンシュウ取引先持株会	6,172千株 (9.78%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.17%)
株式会社みずほ銀行	1,572千株 (2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.24%)
エンシュウ従業員持株会	1,010千株 (1.60%)
前尾和男	851千株 (1.34%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	846千株 (1.34%)
明治安田生命保険相互会社	595千株 (0.94%)

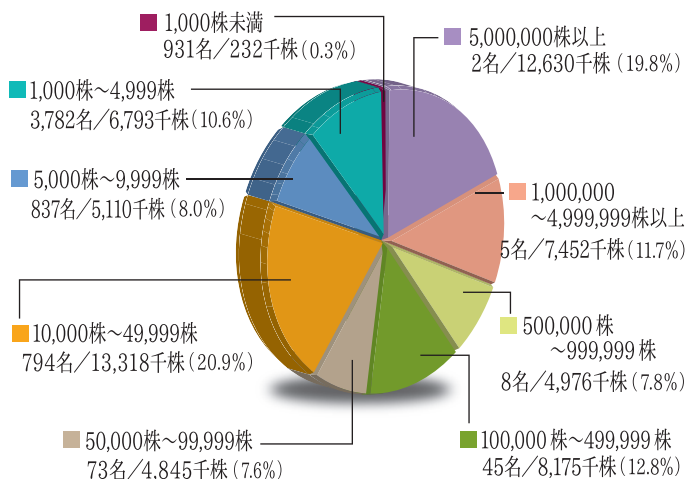
(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 6,477名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計: 6,477名 / 63,534千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE

会社の概況

商号	エンシュウ株式会社(英文ENSHU Limited)
設立	大正9年2月5日
資本金	46億4,085万円
発行済株式総数	63,534,546株
株主数	6,477名
従業員数	999名(連結)
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15 (スターハイツ)
電話03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43 (ファサード江坂ビル)
電話06-6338-2471(代)

サービスステーション / 東北・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	(アメリカ・シカゴ)
ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I	(メキシコ・ケタロ)
ENSHU GmbH	(ドイツ・フランクフルト郊外)
ENSHU (Thailand) Limited	(タイ・バンコク)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	(タイ・バンコク)
PT.ENSHU INDONESIA	(インドネシア・ジャカルタ)
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	(中国・青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	(中国・青島)
ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch Office	(中国・蘇州)
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	(ベトナム・ハノイ)

取締役体制

(平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	土屋隆史
代表取締役	山下晴央
取締役	勝倉宏和
社外取締役	岡部比呂男
取締役 (常勤監査等委員)	中村泰之
社外取締役 (監査等委員)	石塚尚
社外取締役 (監査等委員)	嶋津忠彦

執行役員体制

(平成28年9月30日現在)

社長執行役員	土屋隆史
副社長執行役員	山下晴央
常務執行役員 (管理本部長)	勝倉宏和
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部長)	鈴木敦士
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部副事業部長)	富田敏弘
上席執行役員 (輸送機器事業部長)	勝井真
執行役員 (工作機械・レーザー事業部企画開発部長)	鈴木利夫

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当の基準日

(期末配当) 3月31日

(中間配当) 9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬

なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主となります。

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告 (<http://www.enshu.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の上場 東京証券取引所市場第一部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更・株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットアース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

単元未満株式(1～999株)を 保有されている株主のみなさまへ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から999株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部に
お問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。

ホームページアドレス <http://www.enshu.co.jp>